



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2011 **12**



兵庫 JCC 協同組合研究・交流会を北はりま森林組合（多可郡多可町）にて開催しました。2011年は国連が定めた「国際森林年」です。間伐の様子を見学しました。
(関連記事 P.7)

未来につながる今日の選択

今年度から県連理事をさせていただきます。事になりました、生活クラブ都市生活の大沼です。よろしくお願いたします。

さて、この枠を借りて、生協活動を通して感じていることを少し述べさせていただきます。

私たちは、日々の消費生活を送っている中で、何気なく物を選択して買っています。しかし、何を買うのか、即ち何を「選ぶ」のかという行為が、実は自分の意思表示であり、未来にもつながる選択であって、社会性を持った行為である、ということにどれだけの方が自覚を持っているでしょうか。

生活クラブ都市生活は、食料の国内自給力向上をめざしてい

ます。また、生産者と私たちは対等で、一緒に私たちの消費材（取扱品）を作り上げていくと考えています。そこには、食の安全だけではなく、持続可能な生産や、搾取しない生産、環境を守る視点などの価値が含まれています。しかし、今は「選ぶ」基準が、とにかく「価格が安いもの」となって久しいですね。

私たちのごく個人的な「買う」という行為が、実は社会に大きな影響を与える力を持っている、だから価格だけで判断せず、中身を知って主張や運動性のもった生活クラブ都市生活に買う力を集めようと、組合員に伝えてきました。

食品添加物や農薬、遺伝子組

CONTENTS

2. 想点
4. 保健・医療・福祉研究会 施設見学研修 報告
5. 第2回医療生協部会 報告／第2回共済生協部会 報告
6. 兵庫県生協連・役職員体育大会 報告
7. 兵庫JCC「協同組合研究・交流会」報告／第14回監事研修会 報告
8. 単協通信 甲南大学生生活協同組合／神戸市民生活協同組合

9. 2012国際協同組合年イベント キックオフ大会のお知らせ／1.17兵庫メモリアルウォークのお知らせ／新春トップセミナーのご案内
10. 協同組合のかけ橋
11. 兵庫県のページ
12. 第7回「初級経理学校」第10回「税務・経理講習会」のご案内／県連日誌／編集後記



生活クラブ都市生活 副理事長

大沼 和世

(おおぬま・かずよ)

み換え食品、ポストハーベスト、トレーズできない海外産品、様々な化学物質など、多様な問題点をとらえ、未来の食とその安全につながるように、食料自給力を高めたいと取り組んできました。そこに、今回の原発事故で、新たに最悪な放射能汚染問題が加わってしまいました。

関西の多くの人たちは、原発事故がなんだか遠い所のことと感じているものの、食物は東の方の物はやめておこうと思っっているのではないでしょう。そのような消費者心理や、風評被害を引き起こしているのは、東電と原発を推進してきた国の対応のまずさです。福島県内でも汚染を免れている地域があり、県外で離れていてもホットスポットが見つかっています。現状では消費者が汚染実態を把握できないため、「東の物」は避けようという心理が働いてしまっています。汚染地域の再生は無理

なのか、除染が可能で、耕作が可能となるのか、その対応もきちんと行うことも大切です。消費者が安心して国内産の産物が選択できるように、また今後も国内生産を継続していけるように、納得できる放射能基準値を策定し、全品測定を行い結果を公開するべきだと思います。

私たちが属する生活クラブ連合会では、扱っている消費材(取扱品)の青果・水産品から加工食品まで、ほぼ全ての品目に渡って放射能検査を行っています。検査をするに当たっての優先順位はありますが、生鮮品では、静岡く山梨く長野く新潟く富山県以北の産地の全アイテムと、加工食品とを放射能検査し、毎日その結果をインターネットで公開しています。この全品目検査は、新たな自主基準を作るためと、組合員自らが判断し、わかって食べる、選んで食べる、という事ができるようにするた

めです。

食料は不足なら安い海外産を輸入すればいいではないかという人がいますが、世界の人口が増え続け、食料争奪が起きるとも言われている中、食料輸入がこの先ずっと継続できる保証など全くなく、その考え方には賛成できません。

海外産にはポストハーベスト、遺伝子組み換えなど様々な問題点があります。それらが解決されていないのに、放射能汚染が不安だからと、消費者が安易に海外産志向に流れるのも問題だと思えます。

今後も国内自給力を高め、安全な食を次代につないでいくために、何を選ぶのか、何を食べるのか、即ち生活クラブ都市生活が掲げている「自ら考え行動する私」を作り出していくことが、なお一層大切なことだと思っています。

保健・医療・福祉研究会 施設見学研修を開催

～ずっと元気にこの街で～ けいはん医療生活協同組合



笑い声が絶えないお茶の時間（いこいの家なりた）



村谷専務代行の説明を受けるメンバー（みい・ふれあいの家）

11月8日（火）、「保健・医療・福祉研究会」の施設見学研修として、けいはん医療生協（本部：大阪府門真市）を訪問しました。

90年度より発足した「保健・医療・福祉研究会」では、生協における介護事業についての学習や情報交換を重ねており、今回は、12月にオープン予定のサービス付き高齢者向け住宅「みいの郷」の見学を中心に、今後の事業展開の参考にすることを目的に、保健・医療・福祉研究会メンバー8名と事務局2名の計10名が参加しました。

当日は、小寺専務理事をはじめ、村谷専務代行、小寺副部長、各事業所のみなさまにご案内いただきました。大阪府と寝屋川市が支援する街かどデイハウス「いこいの家なりた」、診療・リハビリ・多機能小規模ホーム、デイサービスセンターを併設する「みい診療所」、食事会や趣味の会、診療所の待合室も兼ねる「みい・ふれあいの家」、サービス付き高齢者向け住宅「みいの郷」を見学。それぞれの施設は隣接し、ボランティアの方々積極的に活動され、地域に密着した事業展開が行われています。

「住み慣れた自宅（地域・住宅）で、最後まで安心して暮らせる」ことをモットーに、「地域包括ケア」の取り組みがすすんでいます。

見学後は、オープン間近の「みいの郷」で今後の取り組みなどを伺いました。メンバーからは「医療現場で、接遇の取り組みが積極的に行われていることに感動した」、「利用されている組合員が、明るく生き生きしているのがいいね」という感想も寄せられ、充実した研修となりました。



個人の接遇目標を掲げています（みい診療所）



デイサービスセンターに集う（みい診療所）



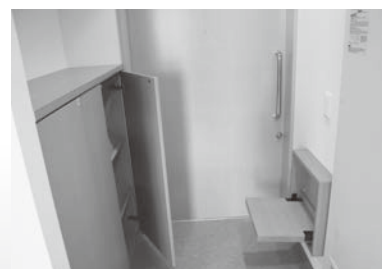
オープン前の住戸を見学（みいの郷）



わが家のようにくつろげる一戸建て（みい・ふれあいの家）



見学後、説明をいただき意見交換を行いました（みいの郷・1階デイサービスの部屋にて）



靴は腰掛けて・・・可動式の椅子（玄関ドア前）（みいの郷）

「2011年度 兵庫県生協連医療生協部会 研修会」開催報告

「地域包括ケアシステムの構築について」をテーマに研修会を開催しました。

11月11日（金）15時30分～17時、兵庫県民会館において「地域包括ケアシステムの構築について」をテーマに「医療生協部会研修会」を開催しました。この研修会は、医療生協が2008年より施行・実施された後期高齢者医療制度や特定健診・特定保健指導などに対応しながら、地域の組合員の健康と暮らしに役立つ医療と介護事業をすすめるなか、改めて兵庫県の医療行政の取り組みについてお話を聞かせていただく機会を設けることを目的に企画したもので、当日は、8医療生協の役職員21名が参加しました。



兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課
副課長 福田 庸二氏



研修会は、兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課 副課長 福田 庸二氏を講師に、「地域包括ケアシステムについて」「介護予防・日常生活支援総合事業について」など、兵庫県の介護の取り組みを中心に分かりやすくお話をいただきました。

参加者からは「兵庫県が地域包括ケアをどのように推進されようとしているのか、具体的に理解できた」「今後も、行政と連携しながら地域包括ケアの推進に貢献していきたい」「介護保険法による新しい仕組みの概要が、よくわかりました」などの感想が寄せられました。この度の研修会は、高齢化を迎えた社会状況下で、兵庫県の医療行政とりわけ地域包括ケアシステムについて体系的にお聴きする機会が得られ、たいへん有意義な研修会となりました。

「2011年度 兵庫県生協連共済生協部会 研修会」開催報告

「社会・経済環境の変化と共済の果たす役割」をテーマに研修会を開催しました。

11月18日（金）14時30分～16時30分、兵庫県民会館において「社会・経済環境の変化と共済の果たす役割」をテーマに「共済生協部会研修会」を開催。共済生協の役職員18名が参加しました。



研修会は、中野ファイナンシャルプランナー事務所 代表 中野 任基氏を講師に「暮らし方や社会保障制度の変化」「共済と保険の違い」「保険法改正後の状況」「共済の果たす役割」について、分かりやすくお話をいただきました。

参加者からは「日々の事業成績だけではなく、<たすけあい>の原点に戻って、組合員さんが今必要としているものを、いかに提示できるかが大切だと感じました」「消費者である組合員さんの目線に立った“共済とは？”という見方を再認識しました」「地域に応じた共済の推進の手法を考えたい」などの感想が寄せられました。この研修会では、保険法の施行、兼業禁止など、共済事業を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、自信を持って事業推進していけるよう、改めて「共済とは何なのか」「組合員が望む保障とは何なのか」を考える機会となりました。



中野ファイナンシャルプランナー事務所
代表 中野 任基氏

2011年度 兵庫県生協連・役職員体育大会で交流

軟式野球大会

10月30日(日)と11月13日(日)の2日間、葉業鳴尾浜スポーツセンター野球場(西宮)にて、会員生協役職員体育大会・軟式野球大会を開催。会員生協役職員の交流を深めました。今大会は、コープこうべ、生活クラブ都市生活、コープ自然派事業連合、尼崎医療生協、近畿労働金庫、JA全農兵庫の8チーム、約130人が参加しました。

10月30日(日)予選当日は早朝から雨模様でしたが、ゲームが始まる頃には曇り空が広がり、予定どおり予選を行うことができ、白熱した攻防が繰り広げられました。決勝戦にはコープこうべ・本部、コープこうべ・ひまわりセンター西部、生活クラブ都市生活、JA全農兵庫が勝ち進みました。

11月13日(日)は、準決勝・決勝戦の3試合が行われ、

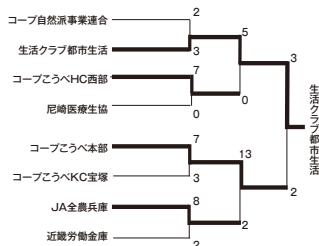
準決勝第1試合の生活クラブ都市生活とコープこうべ・ひまわりセンター西部の対戦では、5-0と生活クラブ都市生活が得点を重ね、決勝戦へ進みました。

また、第2試合のコープこうべ本部とJA全農兵庫の対戦では、初回から猛攻撃で先制したコープこうべ本部が優位に試合をすすめ、JA全農兵庫を13-2で制しました。迎えた決勝戦は生活クラブ都市生活とコープこうべ本部との一戦。接戦のすえ、生活クラブ都市生活が見事、3-0で2連覇達成の優勝を飾りました。



熱戦が繰り広げられました

2011年度 兵庫県生協連 軟式野球大会 結果



▲優勝チーム 生活クラブ都市生活のみなさん ▲準優勝チーム コープこうべ本部のみなさん

ボウリング大会

11月19日(土)午後3時~5時、神戸ボウリング倶楽部で開催しました。今年は、8チーム・34名が集いました。まず、兵庫県生協連・大西専務理事の始球式で大会がスタート。開始前から並んだお目当ての賞品を目指して真剣に投げ込む姿や、歓声やハイタッチで盛り上がりながら交流を深めました。

2ゲーム終了後の合計点(女性はハンデ40点)により、表彰式を行いました。見事、団体優勝を飾ったのは、2連覇となる尼崎医療生協チーム。また、個人優勝は、こちらも2連覇達成の兵頭賢一さん(尼崎医療生協)が受賞しました。

2011年度 兵庫県生協連 ボウリング大会 結果

■ 個人表彰

	生協名	氏名
優勝	尼崎医療生協	兵頭 賢一
準優勝	神戸市民生協	織戸 大貴
3位	尼崎医療生協	井上 大子
ベストドレッサー賞	生活クラブ都市生活	木原 努
4位	コープこうべ コープ有野	島川 淳
5位	尼崎医療生協	藤岡 一郎
ラッキーセブン賞	コープこうべ コープ山手	宗定 正次
10位	生活クラブ都市生活	矢野 好宏
20位	尼崎医療生協	野本 滋巳
30位	コープこうべ 広報室	榊原 晶子
プービー賞	西宮市職員生協	大植 進
がんばりま賞	コープこうべ コープ有野	廣瀬 明子
	兵庫県生協連	中尾ちとせ

■ 団体表彰

	生協名
優勝	尼崎医療生協
準優勝	生活クラブ都市生活
第3位	神戸市民生協
がんばりま賞	コープこうべ コープ有野



▲おつかれさまでした~



▲「やったー！」仲間を応援



▲真剣に投げます



兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）

「協同組合研究・交流会」を開催

11月16日（水）、多可郡多可町にある「北はりま森林組合」にて、「兵庫JCC（兵庫県協同組合連絡協議会）協同組合研究・交流会」を開催。51名が参加しました。この研究・交流会は、より多くの生産者と消費者が直接意見交換をすることで、お互いを理解し合い、生産活動および消費行動に生かすことを目的としています。

今回は、2011年度が国連で定めた「国際森林年」であることから、冒頭、北はりま森林組合常務理事・橋詰雅博氏が「森林が果たしている役割、森林の管理、維持の方法など」と題して講演。森は「自然災害を防止する」「洪水や渇水を緩和して水を貯える」「地球温暖化を防止する」「心や身体を癒す」「生物の多様性を守る」「木材などの林産物を生産する」というそれぞれの役割についてお話いただきました。

次に、参加者は（木材）チップ工場近くの森に向かい、チェーンソーによる間伐の様子を見学。参加者は、見上げる「ひのき」がスローモーションのようにゆっくりと倒れていく様子を見守りました。また、お天気に恵まれた昼食タイムは、マイスター工房八千代自慢の巻き寿司を食べながら交流を深めました。

午後からは、間伐材チップ工場を見学。木材から次々と裁断されていくチップは、薪ストーブのたきつけなどに利用されます。また、機械や素手での薪割体験や椎茸の原木への植菌体験、木工ストラップ作りなど、生産者の方とともに、交流タイムを楽しみました。



間伐の様子を見守る参加者



電動の薪割りを体験



生産者の方との交流

参加者は、「木を伐採すると環境を破壊すると思っていたけれど、伐採して森に光を入れないといけないことを初めて知った」「自然を守っていくことが、いかに大切かが良く分かった」など、秋の日差しの中、体験を通して森林への理解を深めました。

兵庫県・兵庫県生協連共催

第14回監事研修会を開催



公認会計士・税理士 松井大輔氏

11月17日（木）午後2時から兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による2011年度監事研修会を開催しました。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務のあり方を学び、今後とも、健全な生協運営を実施していただく一助にと計画したもので、今年で14回目の開催になります。当日は、20生協から45名が参加しました。

冒頭、兵庫県生協連・大西専務理事の開催挨拶につづいて、兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課・東元課長様より、「監事の役割と指導検査で見受けられる問題点」と題し、組合と監事との関係や、生協法で定められた監事の主な義務や権限、運営面・経理面での指導検査での問題点について講演をいただきました。

次に「リスクを見抜くための決算書の読み方と監査のポイント」と題して、公認会計士・税理士（兵庫県生協専門検査員）・松井大輔氏より「決算書から、どのようなリスクが読み取れるか。また、決算書の分析方法、現行法制上の事業報告と決算書類」について、監査上の主要なポイントをご講演いただきました。

最後に、MMコンサルティング・三宅充氏より「よりよい業務監査・会計監査に向けて」をテーマにしたお話が続いて、兵庫県・兵庫県生協連が作成した「監事監査チェックリスト」を参照しながら、監査する上での注意点などについてお話をいただきました。

また、グループワークの時間には、自生協の監査の状況について意見交換を行い、交流しました。

参加した役職員・監事からは、「他生協の状況が調べて参考になった」「監事の役割の重要性を再認識しました」などの感想が寄せられ、参加人数とともに監事・監査に対する関心の高さが感じられました。



グループワークの様子



甲南大学生生活協同組合

「ひょうご」仕事と生活のバランス企業」

表彰を受賞しました。



11月14日
(月)、兵庫
県公館にて
「ひょうご
仕事と生活
のバランス
企業表彰」
を受賞しま
した。甲南
大学生協で
は、専務理

事が育児休暇を取得した時に感じた
経験を生かして「男性職員にも育児
休業が当たり前と言える風土づく
り」「休業中も社会から置いていか
れない環境づくり」「経験の多い定
年退職後の職員が若手を支える位置
での活躍」「部署を超えてのチーム
ワークづくりや取り組みの強化」を
推進してきました。仕事と生活のバ
ランスという言葉だけでは、「休みを
多く取ることができない」「残業を
しないで帰ることができる」と思い
がちですが、甲南大学生協では、情
報伝達の強化や、コミュニケーション

ンの場を多く設けることで、皆が支
え合ってお互いを知り、自然にサ
ポートをし合える風土を作ることが
できたと感じています。生活が充実
していないと

仕事の効率に
も関わります。
逆に仕事が充
実していない
と生活にも影
響します。ま
た、「ひとこ
とカード」に
よって学生組
合員とのコ
ミュニケー
ションを密にとることで、学生への
「生き方を考える」啓発活動もでき
ています。今後も「仕事と生活」を
切り離すのではなく、生きがい
を持つて働き、多様な生き方を選択で
きる組織として、努力を重ねていき
ますので、ご指導をよろしくお願
いいたします。

(専務理事 内田真紀子)



神戸市民生活協同組合

ラインの館で「木彫フォークアート」

おおや秀作展」を開催しました

11月2日(水)より11月30日(水)
までラインの館にて「木彫フォーク
アート・おおや秀作展」が開催され
ました。この企画展は、毎年全国各
地から木彫芸術作品を公募されてい
る養父市のご協力により、通常は養
父市の木彫展示館でしか見ることの
できない作品を、広く来館の方々に
も見ていただくこうと、5年前より始
めました。なお、フォークアートと
は人々と芸術を組み合わせた造語で、
人々の生活に密着した芸術のこと
です。



熱心に見入る来館の方々

木彫作品は60cmを超えるほど大き

い物、細
やかに彩
色された
ものな
ど、バラ
エティに
富んでい
ます。毎
年来館の
方々に好
評な企画



ユニークな力作が勢ぞろい

ですが、今回も独創性豊かなすばら
しい作品の数々が展示されました。
観光客の方からも「すごい迫力のあ
る作品で、見ごたえがありますね」
といったお声が寄せられました。
ラインの館及び風見鶏の館では、
今年はクリスマス期間 12月23日
(金・祝)〜25日(日)の間、特別
に午後8時まで夜間開館を行います。
ライトアップされた異人館の夜景も
楽しめますので、ぜひこの機会にご
来館いただきたいと思います。

(通信員 総務課 鹿田裕子)

2012国際協同組合年宣言イベント キックオフ大会のお知らせ

スローガン：協同組合がよりよい社会を築きます



国連は2009年12月の総会で、2012年を「国際協同組合年（International Year of Co-operatives=IYC）」とすることを宣言しました。これは、世界が大きく変化している中で協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。「国際協同組合年」の始まりのキックオフ大会を開催いたします。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

開催日時：2012年1月12日（木）

13：30-15：30

開催会場：兵庫県農業会館

D V D：「2012国際協同組合年に向けて」

講演：「明日を拓く協同組合

～国際協同組合年を迎えて」

野尻 武敏氏（神戸大学名誉教授）



参加定員▶500人

入場料▶無料



主催：兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）

兵庫県生活協同組合連合会／兵庫県農業協同組合中央会／
兵庫県漁業協同組合連合会／兵庫県森林組合連合会

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL 078-391-8634

お知らせ

阪神・淡路大震災17周年 ～ひょうご安全の日のつどい～

1.17ひょうごメモリアルウォーク2012

～東日本大震災被災地の復興を応援します～

震災時を思い起こしながら、緊急時の避難路、救援路を歩き、防災意識を新たにするとともに、ゴールとなるHAT神戸・なぎさ公園で開催される「1.17のつどい」に参加しませんか。

開催日：2012年1月17日（火）

参加費：無料

●事前参加申し込み・お問い合わせ

ひょうご安全の日推進県民会議事務局
〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

（兵庫県復興支援課内）

TEL：078-362-9984

FAX：078-362-9876・4459

ウォークコース

コース名	スタート会場	スタート時間
東15kmコース	西宮市役所（西宮市六湛寺町）	午前 8：00
東10kmコース	芦屋市川西運動場（芦屋市川西町）	午前 8：30
東 2kmコース	王子公園（神戸市灘区）	午前11：00
西15kmコース	須磨海浜公園（神戸市須磨区）	午前 8：00
西10kmコース	県立文化体育館（神戸市長田区）	午前 8：30
西 5kmコース	神戸市立中央体育館（神戸市中央区）	午前10：00

このほか、事業所・学校などの単位で、災害時帰宅困難者の徒歩帰宅訓練を目的として実施する「帰宅訓練コース」もあります。

主催：ひょうご安全の日推進県民会議

2012年度 兵庫県生協連 第7回 新春トップセミナーのご案内

記念講演

『次の巨大災害に備える・・・
東日本大震災の教訓』

講師

関西学院大学 災害復興制度研究所 所長

総合政策学部 教授 室崎益輝氏

開催日時：2012年1月7日（土）14時～17時

スケジュール：14時～15時15分

記念講演会（トップセミナー）

県民会館10階「福」

15時30分～17時

賀詞交換会 県民会館7階「鶴」

参加対象：会員生協理事長、常勤（非常勤）理事、職員、兵庫県生協連理事・監事、

定員：80名

参加費：お一人3,000円

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL078-391-8634

協同組合のかけ橋

JF 兵庫県漁業協同組合連合会

淡路水交会の「漁業者の森づくり」 ～淡路市立学習小学校児童も参加しての植樹活動～ (社) 淡路水交会

社団法人 淡路水交会（前田吉計会長）が主催する「漁業者の森づくり」が、11月8日（火）淡路市の東浦サンパークで行われました。この活動は、アオリイカの産卵床となるバベ（ウバメガシ）の枝や間伐材を使った“柴漬け”の木を育てるため、また、漁業者と一般県民が力をあわせて豊かな海の再生に向けた“森づくり”を行うことで、環境保全と地域への貢献を図ろうという趣旨で始まり、今年で3年目となります。

作業当日は天気にも恵まれ、集合場所であった淡路市の東浦サンパーク 多目的グラウンドには島内20JF役職員や漁青連、女性連のほか、行政や系統団体、さらに淡路市立学習小学校5年生児童の約50名が加わった総勢200名が集合しました。前田会長の挨拶と植樹手順の説明の後、参加者は苗木と土嚢に入った土を次々に運び込み、用意した600本のバベ、ヤマモモ、アキニレを植樹しました。場所はグラウンド横の傾斜地で、急斜面の足場の悪いところもあったものの、約1時間で植樹作業は終了しました。

作業終了後にはアオリイカの天ぷらがふるまわれ、参加者は皆、揚げたてアオリイカを美味しく食べていました。

豊かな海の再生に向けて、また、森・川・海をつなぐこの「森づくり」事業は、これからも淡路の各地で展開されていきます。



5年生の皆さんも頑張りました。苗木を皆で運びます。



豊かな海への願いを込めて・・・

JA 兵庫県農業協同組合中央会

特産イチジクの加工品試食会 JA兵庫みらい



試食会であいさつする後藤組合長

JA兵庫みらいは、(株)松原製館所と小野特産のイチジクを使った加工品の開発に取り組んでいます。10月18日には県農業会館で試食会を開き、関係者ら17人がイチジク館を使ったパンやどら焼き、水まんじゅう、ようかんなど、8種類の試作品を試食。改善点や具体的な販売方法など平成24年度の商品化に向けて意見を交わしました。

イチジクを使った加工品の開発は、中小企業者と農林漁業者が連携して行う研究開発や販路開拓などの事業を支援する「ひょうご農商工連携ファンド事業」の助成金を利用しました。JAと同社が連携体となり、未活用の野菜や果物を活用した館商品の開発に取り組んでいます。同JA管内では、特産イチジク「おのこまち」を小野無花果部会の16人が栽培。イチジクを年間通しておいしく味わってもらおうと、同社と協力して、本来の甘みと風味を生かした館を完成させました。

同JAの後藤健次郎代表理事組合長は「地域や農業の活性化のために、特産品の開発は重要なこと。連携を図りながら、農産物を生かした加工品を作っていきたい」と語りました。



最近の消費生活相談事例

高齢者の消費生活トラブル

～新たな手口！電気掃除機の買い取り電話勧誘！！～

事例

「掃除機にレアメタルが使用されている。該当の掃除機があれば100万円で買い取る」と知らない事業者から電話があったが断った。翌日、消費生活センターを名乗り「レアメタルは事業者間で売買されており、当方は230万円で買い取る。掃除機の所有者変更手続きのため事業組合への投資費用として60万円が必要」と電話があった。信用できるのか。

【アドバイス】

十数年前に購入した電気掃除機や電気治療器を買い取る電話勧誘を受けたという相談が、県内の消費生活センターに寄せられています。

レアメタルとは、携帯電話やパソコンなどのIT製品の部品に多くに使われている金属で、産出量が少ないことから、リサイクルに注目が集まっています。

相談事例の事業者のいう投資費用60万円を振り込んでも、掃除機を230万円で売却できるという保証はありません。また、消費生活センターがレアメタルを買い取ったり、売買の仲介をすることは絶対にありません。電話をしてきた事業者の話をするのみにするのは大変危険です。

その他、『古い掃除機をオークションに出せば高額で売れる』との電話があり、後日再度『外国人が150万円で買い取りたいと言っている。保証金として60万円払ってもらえれば、150万円振り込む』との電話があった」という相談もあります。

このように、手数料や保証金等の名目で先に金銭の支払いを求められるケースは注意が必要です。家電製品を購入価格の数倍で買い取るような『おいしい話』はありません。冷静に考えて、おかしいと思ったら周囲の人に相談しましょう。

環境省が家電からレアメタルを回収する制度骨子をまとめたこともあり、今後、様々な家電製品の買い取り便乗商法が増加する懸念があります。十分注意してください。

(兵庫県生活科学総合センター 078-303-0999)

MOVE

経理の重要性が増すなか、兵庫県生協連では「初級経理学校」「税務・経理講習会」を独自で開催しています。2012年開催の日程が決まりましたので、ご案内いたします。

第7回「初級経理学校」のご案内

経理担当者の、初歩からの人材育成をめざして、生協簿記の基礎知識から決算関係書類作成まで丁寧に指導します。

日程：1/19(木)、20日(金)、24日(火)、25日(水)、26日(木)

会場：兵庫県民会館 10階1001号室、12階1202号室、3階304号室、7階「ばら」

受講料：お一人 2万円

講師：三宅 充氏 (MMコンサルティング代表)

- カリキュラム：(1) 生協簿記の基礎知識 * 講義・演習・練習の繰返し
 (2) 取引と仕訳
 (3) 主な勘定科目の説明
 (4) 決算手続き・試算表の作成・精算表の作成
 (5) 貸借対照表と損益計算書・剰余金処分案の作成



第10回「税務・経理講習会」のご案内

税務経理の諸問題等についての合同の講習会とクラス別の講習で、生協の税務と経理の実務について学びます。

1. 日時：1日目 2月16日(木) 9時30分～17時

2日目 2月17日(金) 9時30分～17時

2. 会場：兵庫県民会館・3階 301号室、302号室

3. 受講料：会員生協：無料 関連子会社：お一人5,000円
 *ただし、昼食代・テキスト代は実費を徴収します。

4. 講師：江藤 俊哉氏 (日生協会員支援本部)
 三宅 充氏 (MMコンサルティング)
 宮田 正樹氏 (西宮市職員生活協同組合 統括部長)
 山下 信孝氏 (生活協同組合コープこうべ 経理部統括)

5. クラス別講習内容：(1) 初級クラス (定員20名)

- ・内容 ①税務・経理・財務管理の基本
- ②簡単な設例に基づく税務申告書の書き方の手ほどき

(2) 中上級・関連子会社(株式会社)クラス (定員20名)

- ・内容 ①設例に基づいた法人税申告書の作成(演習含む)
- ②上級者用設例による解説



●参加申込み・お問合せ●

兵庫県生協連 TEL 078-391-8634

県連日誌

12月1日(木) 第3回関西地連運営委員会 (新大阪 江坂東急イン)

12月5日(月) 兵協連 第3回理事会・貸付審査会 (県民会館 1201)

12月6日(火) 兵庫県労働者福祉協議会 第3回理事会 (神戸)

12月8日(木) 日生協全国・県連責任者会議 (東京)

12月19日(月) 近畿農政局と近畿地区生協府県連事務局との懇談会 (京都)

12月22日(木) 消費者支援機構関西理事會 (新大阪)

編集後記

寒い北風が、ぴゅーと吹く季節になりました。みなさま、お風邪など召されてませんか。駅から事務所までの通勤途上の坂道に学校があり、壁に続くフェンスに4つの言葉が括りつけてあります。「はい」という素直な心、「私がやります」という奉仕の心、「おかげさま」という謙虚な心、「ありがとう」という感謝の心。毎朝、この言葉を眺めながら仕事に向かい、元気を蓄えます。今年もいろんなことがありました。たくさんの方に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいです。来年も「兵協連だより」をよろしくお願いたします。みなさま、良いお年をお迎えください。(中尾)

